調査団体名	はりんこネットワーク	団体代表者名	柳瀬崇
活動地域	岐阜県・西部、滋賀県・東部	団体URL	なし

＜活動内容＞

活動地域における湧水池とその流域河川などに生息する、絶滅危惧種ＩＡ類のハリヨを保護するために、清掃、水草管理、地域・子どもたちへの環境教育をする。基地を30カ所近く設け、名所として観光等の役に立つよう整備している。リーダーがその地区の自治会長であり、実際には近所のボランティアグループに負うところが多い。保育園から大学まで子どもたちを巻きこみ、学校の敷地などにも保護区を設けている。企業の玄関など幅広く協力していただいている。

ハリヨに限らず、ホタルや水生植物などの保護を兼ねるとともに、新名水百選にもなるほどの水の保全活動をしている。

日本にすむ寒帯魚のハリヨは大垣のシンボルになった。世界で南限で、寒帯魚内における日本で最も貴重な種の保全活動。

＜連携している団体・専門家・自治体など＞

西濃地域内の基地間の連携と、外部他団体との連携がある。

前者は「はりんこネットワーク」を形成し、交流・広報・教育などの意見交換をしている。後者は、グラウンドワーク東海、木曽三川フォーラム、伊勢・三河湾流域ネットワーク、河川環境楽園、岐阜県世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふで、もっと広く環境問題について交流、研究をしている。

＜今までに行った調査・研究＞

〇湧水の水源エリア　〇ハリヨの生息地域における拡大・縮小の確認　〇ハリヨの個体数
〇ハリヨ以外の動植物（ホタル・カワニナ・バイカモなど）の調査・保全
〇ハリヨに害を及ぼす動植物の調査・駆除　〇湧水の調査・保全

＜現在直面している課題＞

ハリヨのDNA、地域性を重んじるべきであろうが、あまり度をすぎると近親交配になり良くないので、その度合いが難しい。許可採取の罰金百万円ができても、バキュームカーで一網打尽になり、園児の夢を壊した例さえある。

人間以外にもカワウによる被害も問題。

どのボランティア団体にも共通する高齢化がある。

＜今後どんな情報が必要か＞

〇COP10市民ネット
〇中部ボランティア交流会
〇岐阜県の河川課・地球環境課・水産課
〇全国豊かな海づくり大会
〇国土交通省・環境省・農林水産省
〇関係市町村の関係部署

西之川ハリヨ池